

支え合い楽しむキャンパス



琉球大学の学生らと水遊びを楽しむ沖縄整肢療護園の園生ら
17日、那覇市の沖縄整肢療護園

障がい者15人と生徒・学生80人



障がいがある人たちが大学生らと一緒にキャン

キャンプを楽しむ「第45回沖縄YMC Aあめんぼキャン

プ」(主催・沖縄YMC A)が那覇市の沖縄整肢療護園で、16日から2泊3日の日程で開かれている。同園と若夏愛育園の9歳から37歳までの15人の園生が参加。琉球大学の学生のほか、沖縄尚学高校の生徒らボランティア約80人が協力し、園生の着替えや食事介助など、寝食を共にした。

キャンプ初日の16日はお化け屋敷など学生企画のレクリエーションなどで盛り

上がった。17日は、水遊びなどがあり、園生やボランティアが園内に作られたビニールプールで炎天下での涼しさを満喫した。

来春に卒園を控え、今回が最後の参加になる國吉真奈美さん(17)は、「外の気温と全然違って寒かったけど、気持ちよかった」と楽しそうに話した。比嘉泰祐さん(26)は「水が冷たくて気持ちいいし、楽しい」と笑顔を見せた。学生代表の安永可菜さん(琉大3年)は「水遊びは安全面が課題だったが、楽しんでもらえてよかった」と一安心した。両施設の池田朝彦支援相談員も「少しの間でも病棟を離れて楽しんでくれれば」と和やかな表情で語った。